

## 2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	杉谷修一	職名	准教授	学位	教育学修士 (九州大学 1990 年)
----	------	----	-----	----	---------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
教育社会学	子ども、遊び、社会化、相互行為、ニューメディア、ゲーミフィケーション、ゲーム

研 究 課 題
(1) 相互行為としての子どもの遊びにおけるシンボルの役割とそれをめぐる秩序形成に関する研究。 (2) 教育におけるゲーミフィケーションの社会学的分析に関する研究。 (3) ニューメディアと子どもの社会関係に関する研究。

担 当 授 業 科 目
道徳教育の理論と実践 (前期) (看護学科) 道徳教育の理論と実践 (前期) (福祉学科) 道徳教育の理論と実践 (前期) (栄養学科) 道徳教育の理論と実践 (前期) (英語学科) 社会調査の基礎 (前期) (福祉学科) 教育原理 (後期) (福祉学科) 教育社会学 (後期) (看護学科) 教育社会学 (後期) (福祉学科) 教育社会学 (後期) (栄養学科) 教育社会学 (後期) (英語学科) 社会学と社会システム (後期) (福祉学科) 初年次セミナー I (前期) (福祉学科) 初年次セミナー II (後期) (福祉学科) 教職実践演習 (後期) (看護・福祉・栄養・英語学科) 養護実習 (福祉学科) 養護実習事前事後指導 (三期にわたる) (福祉学科) 事前及び事後の指導 (三期にわたる) (福祉学科) 専門研究 I (福祉学科) 専門研究 II (福祉学科)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 道徳教育の理論と実践 】 道徳の理論に関する学習にとどまらず、教育現場での道徳教育の実践と結びついた力を養うことを心がけた。次期学習指導要領改訂など現在進行中の道徳教育の改革動向も踏まえ、特に授業としての道徳の観点から、学習指導案の構造と基本的な書き方を身に着けさせ、模擬授業と事後指導を全体で共有した。授業づくりの基本的ルールを具体的な指導案に反映させる工夫を行った。また視聴覚教材をはじめ、児童生徒にわかりやすい教材づくりを具体的に紹介した。資料の提示、補助教材の案内等でクラスルームを活用した。

授業科目名【 社会調査の基礎 】

国家試験科目の中でも学生が不得意な分野であるため、基礎をくりかえし学習することで確実に理解できるよう心がけた。特に統計に関連する分野では、計算をさせるのではなく、統計手法が何を意味し、何の役に立つのかという観点から学習を組み立てた。具体的な例、概念図などについて複数の比較を行うなど工夫して理解を助けた。授業終了後もポイント解説のプリント配布やメールでの指導を行った。資料の提示、補助教材の案内等でクラスルームを活用した。

授業科目名【 教育社会学 】

子どもの発達社会学というテーマについて、家族・地域・学校といった社会化の場の相互関係をイメージさせながら授業を行った。社会化の場としての学校・地域・家族の関係を近代以降の変遷を通じて解説し、そのための補助教材を工夫した。テキストで不十分な箇所についてはビデオ教材や別資料をもとにしたレジュメ・スライドを作成した。発展的学習として、キーワードを用いて複雑な対象を説明する方法について解説した。学んだ知識を資料の読み取りに活用できるよう、具体的な解説を行った。資料の提示、補助教材の案内等でクラスルームを活用した。

授業科目名【 社会学と社会システム 】

国家試験受験科目の中でも学生が不得意な分野であるため、社会学の抽象的概念を具体例で考えられるように工夫した。特にモデル図や身近な現象でたとえた具体例を多用したレジュメを準備し、丸覚えではなく理解できることを目指した。

また、途中で復習の授業を取り入れ、キーワードや問の立て方などを示したプリントを配布し、負担を軽減しながら理解を促した。今期は動画の活用なども試みた。授業後の質疑応答なども積極的に活用した。新しい試みとして、抽象的な概念を映画のシーンなどを教材として活用した。授業終了後もポイント解説のプリント配布やメールでの指導を行った。資料の提示、補助教材の案内等でクラスルームを活用した。

授業科目名【 教育原理（子ども家庭コース） 】

保育実践との直接的関連がイメージしにくい学問領域のため、現在の教育現場の諸課題を取り上げ、教育の意義・内容・方法等の原理と結びつけるよう心掛けた。また、教育思想の展開は社会や文化と関連させながら、スライド資料として図解や画像を多用するなど工夫した。

授業科目名【 初年次セミナーⅠ・Ⅱ 】

「読む力」を養うことを主眼に授業を行った。論理的文章の読み取りテストを行い、なぜ読み取れなかったかをグループでディスカッションするなど自分自身の課題に気が付く工夫を行った。また、楽しみとしての読書を促進するために、様々なテキスト・文芸のジャンルを具体例（実際のテキストや口承文芸の音声など）として触れる機会を準備した。最後はプレゼンテーションを行い、資料探し、スライド作成、発表、感想などを相互に経験した。

授業科目名【 教職実践演習 】

教職課程の総仕上げにあたる科目であり、養護実習での経験を土台に教員としての資質能力の再点検を行った。特に「教師としての使命感」をテーマに、教員の不祥事やメンタルヘルスについて、事例や統計を用いながら自己省察と具体的取組を検討した。

授業科目名【 養護実習 】

養護実習中の巡回訪問指導が感染症対策のため実施できなかった。それを補うために電話による指導教員からの聞き取りの充実を図った。また実習中の実習生からの質問等にはメールを使って迅速かつ詳細に行った。

授業科目名【 養護実習事前事後指導・事前及び事後の指導 】

3月のオリエンテーションで養護実習の意義と目的を基本的に理解させると共に、実習経験者の体験を直接聞く機会を設けた。質疑応答や教員の指導を組み合わせることで事前の心構えから、不安の具体的解消法などについて授業を展開した。

事後指導については分野別の振り返りから始め、実習内容を深化させるための演習を行った。また実習校の規模や学校段階、その他学校の特性に起因する実習経験の偏りを少なくし、多様な養護活動を理解させることを意識した。クラスルームを通じて教員採用試験と関連する資料の提示や解説、予想問題の作成と解答・解説を行った。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本教育社会学会	九州教育学会紀要編集委員 (2009年4月～2011年3月、2016年3月～2016年12月)	1985年6月～現在に至る
九州教育社会学会		1985年6月～現在に至る
日本教育学会		1990年5月～現在に至る
九州教育学会		1990年5月～現在に至る
日本社会学会		1990年11月～現在に至る
日本教育方法学会		1997年5月～現在に至る

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 道徳科におけるゲーミフィケーションの検討 (1) ー議論する授業の基礎となる条件ー	単著	2023.3	西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教職論集 第1号	学習指導要領及び中教審答申『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』に示される「考え、議論する道徳」の授業にゲーミフィケーションがどのように寄与できるのか、規則の修正を巡る議論などの例を通じて基礎となる条件を論じた。
(翻訳)				

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称 (学会発表)	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役職名等	任 期 期 間 等
特定非営利活動法人生涯学習指導者 育成ネットワーク	生涯学習指導者育成セミナー 講師	2007.9～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
教職課程委員 2014年4月1日～現在に至る 大学点検評価改善会議FD部門会議 2021年4月1日～現在に至る 福祉学科Instagram検討会 2022年4月1日～現在に至る 福祉学科保護者懇談会ワーキンググループ 2022年4月1日～現在に至る